

# 特定看護師活動の実際 1

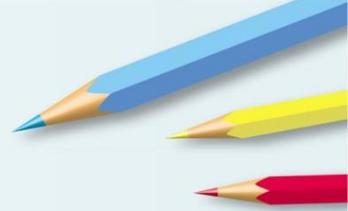
## ～特定看護師の教育・実践・研究活動例～



洛和会音羽病院 特定看護師  
救命救急センター・京都ER

水嶋将吾

# 本日本話すること



1. 特定看護師による教育活動
2. 特定看護師による実践活動
3. 特定行為実践における今後の課題

# 1. 特定看護師による教育活動



# 特定看護師の職務規則より



## (教育活動)

第三条 特定看護師は、院内外において患者安全・医療安全活動に係る職員教育・研修を主催または関係部署と共催し、安全文化の醸成を図る。

2 特定看護師は、院内外において看護の質向上に係る職員教育・研修を主催または関係部署と共催し、看護実践能力の向上を図る。

3 特定看護師は、院内外からの講義依頼等を受託し、特定行為に係る知識の付与・技術研鑽に努める。

# 共通科目と区分別科目



- 特定行為研修は共通科目と区分別科目に分かれており、共通科目は特定行為の実践に不可欠な基礎的知識と技術を学ぶ科目として位置づけられている。

- 共通科目（7科目） : 315時間

臨床病態生理学	45時間	疾病・臨床病態概論	60時間
臨床推論	45時間	医療安全学	30時間
フィジカルアセスメント	45時間	特定行為実践	45時間
臨床薬理学	45時間		

- 区分別科目（5科目） : 202時間

呼吸管理（気道確保に係るもの）関連	22時間
呼吸管理（人工呼吸療法に係るもの）関連	63時間
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	36時間
術後疼痛管理関連	21時間
循環動態に係る薬剤投与関連	60時間

合計517時間

(2015年度カリキュラムより)

- なかでも、臨床推論とフィジカルアセスメントでは「医療面接」が重視されており正確で効率的かつ患者に不快感を与えない情報収集能力の獲得が求められる。

# 教育活動の例：医療面接の実習



- 模擬患者 認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOMLに模擬患者として訓練を受けた担当者の派遣を要請し、委託
- 対象（実施者） 特定行為研修生 3名
- 評価者
  - 医療面接項目：「Bates診察法」医療面接における問診項目
  - 評価時間
    - ✓ 実施時間：10分
    - ✓ 模擬患者FB：2分、評価者FB：3分
  - 評価：Direct Observation of Procedural Skills (DOPS) 評価表を用いた客観的評価
    - ✓ 問診項目の聴取
    - ✓ 医療面接に係る知識、態度（言葉遣い、患者への配慮）
    - ✓ その他

## 【DOPS 1】病歴聴取

研修者名:	診療科:	
評価者: <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 指導看護師 <input type="checkbox"/> 他職種指導者 ( ) <input type="checkbox"/> その他		
研修者によって過去に実施された同じ手技の回数: <input type="checkbox"/> 0 <input type="checkbox"/> 1-4 <input type="checkbox"/> 5-9 <input type="checkbox"/> 10<		
評価者が経験したDOPSの回数: <input type="checkbox"/> 0 <input type="checkbox"/> 1-4 <input type="checkbox"/> 5-9 <input type="checkbox"/> 10<		
臨床設定:	<input type="checkbox"/> 特殊診療科	<input type="checkbox"/> 救急外来 (ER) <input type="checkbox"/> ICU・CCU
	<input type="checkbox"/> 救急病棟 (2B)	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 急性期病棟	<input type="checkbox"/> 病棟名 ( )
	<input type="checkbox"/> 慢性期病棟	<input type="checkbox"/> 病棟名 ( )
	<input type="checkbox"/> 入院種別	<input type="checkbox"/> 予定入院 <input type="checkbox"/> 緊急入院
	<input type="checkbox"/> 手術種別	<input type="checkbox"/> 予定手術 <input type="checkbox"/> 緊急手術
	<input type="checkbox"/> 対応場面	<input type="checkbox"/> 予期された緊急対応 <input type="checkbox"/> 予期せぬ緊急対応
手 技:	<input type="checkbox"/> 病歴聴取	

### ■評価

日付:	基準未達	基準境界	基準相当	基準より上	該当なし
点数	1	2	3	4	
1. 初期情報について聴取できたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 主訴を特定できたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 現病歴を聴取できたか *OPORSTに基づいて系統的に聴取できたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 既往歴について聴取できたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 家族歴について聴取できたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 個人歴と社会歴について聴取できたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. システムレビューができたか *lead to liveで症状・所見を確認し追加で詳細な情報収集ができたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 自己紹介ができたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 目線や姿勢は患者に向けられていたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 言葉遣いに注意できたか *命令口調になっていないか、敬語が正しく使えているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 時間内に問診が終了できたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 問診と並行して記録の記載ができたか *カテゴリー別に情報を分類できたか 良かった点、改善点	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価者署名	観察時間: _____ 分 フィードバックした時間: _____ 分				

Produced by Akiteru Takamura based on Foundation Programme Curriculum Guide in UK.をもとに改変

( / )

# 評価表

Bates診察法のテキストより、

以下のポイントを踏まえた評価表を作成

- ☞ 聴取すべき項目が理解できてか
- ☞ 意図的に情報収集ができたか
- ☞ 聴取した情報をカテゴリー別に分類できたか
- ☞ 時間を意識した情報収集ができたか
- ☞ 患者に不快感やストレスを与えない言葉遣いと態度で問診に臨むことができたか
- ☞ 問診と並行し記録が行えたか



# 医療面接の実習場面



特定看護師が指導者として客観的評価を実施  
チェックリストに基づき、各項目を評価



終了後は、看護師役のふり返り（自己評価）  
を実施した後、患者役（模擬患者）、評価者  
の順でフィードバック

## 共通科目で学んだ事を活かして…



- 特定看護師はそれぞれの所属において  
質の高い医療面接および情報収集を実践する
- 診療に有用な医療情報を効果的に収集する
- 患者の不安・ストレスが最小限となるような  
医療面接の環境を提供する
- 部署におけるモデルとなり、医療面接および  
情報収集に関する教育・指導にあたる

## 2. 特定看護師の実践活動



# 特定看護師の職務規程より



## (特定行為の実施)

- 第七条 特定行為は、別に定める手順書に則り実践しなければならない。
- 2 前項にあっても実施前には、必ず職務権限について医師に確認しなければならない。
  - 3 特定看護師は、実践活動計画策定、実施、評価を行い、一事業年度ごとに特定行為管理者に活動実績について報告する。
  - 4 特定看護師は、特定行為の実施に当たり必要ある事項につき、特定行為管理者への報告を怠ってはならない。
  - 5 特定行為管理者は前項の報告に基づき、重要事項については病院長を経て特定行為研修管理委員会に諮問し、答申を得て決定する。
  - 6 特定行為が実施される場所については別に定める。

# 特定看護師の職務規則より

## (活動理念)

第二条 特定看護師による特定行為は、病態生理の理解に裏付けられた専門的な知識と判断力、並びに実践的な技能を以って、医師の指示書に則り患者・家族に対し高度な看護を実践するものとする。

2 特定看護師は、患者の異常の早期発見・早期対応に努めるとともに適切な臨床判断を下し、適宜主治医や関係部署との連携・調整を図る。

3 特定看護師は、患者の症状緩和を達成し最適な療養環境を調整・提供する。

4 特定看護師は、生命に係る倫理的配慮を忘れず、患者・家族の権利を守るために寄り添い、患者擁護に努める。



# 活動の具体例：糖尿病内科



・周術期にある入院患者の血糖コントロール  
担当する患者の情報収集を行い、特定看護師の考えた  
インスリン指示を医師に提案し議論する。医師の指導のもと、  
実際に介入し結果をもとに計画を修正する。

・患者指導の技術を学ぶ

栄養士が行う栄養指導、薬剤師が行うインスリン注射の指導の  
実際を見学する。

指導に必要な情報や、個別性のある指導計画の立案を知る。

### 3. 特定行為実践における今後の課題



# 臨床実践へ



## 研修の効果が発揮される場面

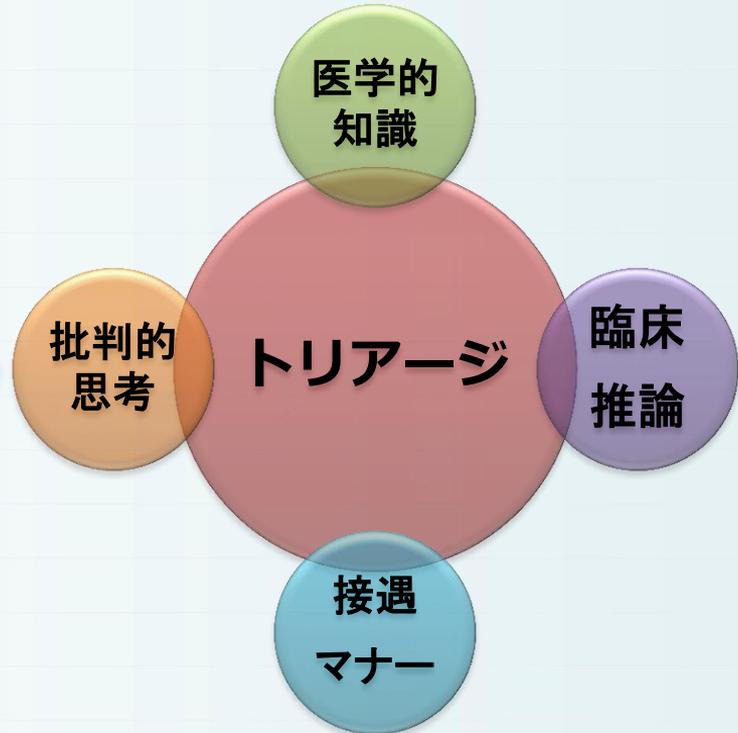
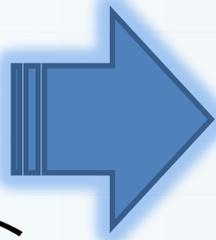
- 初診患者および入院患者の病歴聴取
- ベッドサイドにおける患者との  
コミュニケーションと情報収集
- 救急外来におけるトリアージ

# 臨床実践へ



- 質の高いトリアージを可能にする要素

臨床病態生理学  
疾病・臨床病態概論  
臨床推論  
フィジカルアセスメント



ご清聴ありがとうございました

